

01 気候変動による影響と「適応」の必要性

気候変動により以下のような影響が懸念されており、抵抗力を高める取組である「適応」が必要とされています。「適応」については裏面もご参照ください。

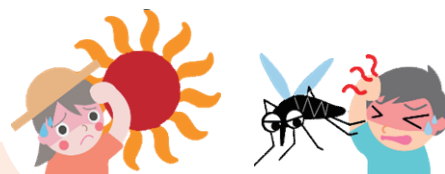
現在

近年、世界中で極端な気象現象が観測されており、日本もその例外ではありません。2018年には西日本、2019年には東日本を中心とした、大雨や強風による災害が多発し、各地で断水や停電など、生活インフラへの被害が相次ぎました。



将来

現在のように温室効果ガスを排出し続ければ、気温が上昇することで、既に顕在化している影響がさらに悪化することに加え、感染症のリスクが高まることや、熱中症によって亡くなる人が増えることなどが懸念されています。



02 川崎市が取り組む適応策

本市の特徴を踏まえ、気候変動影響のうち「自然災害・沿岸域」「健康」「国民生活・都市生活」の分野の各項目に重点的に取り組んでいくこととしています。

●熱中症・感染症、暑熱対策（ヒートアイランド対策を含む）の推進

- ・熱中症対策としてWEBやSNSなどによる予防啓発を実施
- ・感染症対策として蚊などの害虫防除についてWEBにより注意喚起
- ・暑熱対策として、緑化事業の推進、暑熱環境の調査研究を実施 など

●治水・水害対策の推進

- ・河川改修事業の推進、雨水管きょや貯留管などの整備の推進
- ・洪水ハザードマップの周知 など



SNS発信(熱中症予防情報や対策)



Twitter
@kawasaki_keri1



Facebook
@kawasakikeri



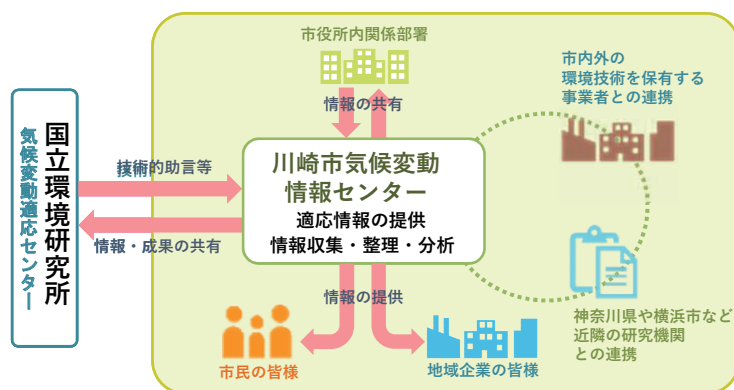
03 気候変動情報センターについて

●設置根拠・体制

気候変動適応法（平成30年法律第50号）の主旨を踏まえ、川崎市では令和2年4月、環境総合研究所内に気候変動情報センターを設置しました。

●主な活動

本センターでは国や他の地方公共団体、研究機関等と連携し、気候変動の影響や適応に関する情報の収集、整理、分析等を実施します。また、その成果を広く提供することで、市民や事業者の皆様それぞれの、気候変動適応に関する取り組みを促進します。



本センターの位置づけ

川崎市気候変動情報センター

〒210-0821川崎市川崎区殿町3-25-13(LiSE3階)
TEL: 044-276-8964 FAX: 044-288-3156
Email: 30sotosi@city.kawasaki.jp

温暖化対策には2つの取組が必要です。

私たちは日々の暮らしの中で温室効果ガスを大量に排出しており、そのことによって地球の平均気温は上昇を続けています。こうした地球温暖化やそれに伴う気候変動が、私たちの生活に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。そこで「緩和」と「適応」、2つの温暖化対策への取組が必要となります。

■緩和

人間社会や自然の生態系が危機に陥らないためには、実効性の高い温室効果ガス排出削減の取組を行っていく必要があります。温室効果ガスの排出抑制に向けた努力が緩和です。



■適応

緩和を実施しても温暖化の影響が避けられない場合、その影響に対して自然や人間社会のあり方を調整していくことが、適応です。

温暖化による影響と適応策

日本において適応に取り組むべく、平成27年に「気候変動の影響への適応計画」が策定されました。そこでは、影響が既に生じているまたはその恐れがある主要な7つの分野（「農業・森林・林業・水産業」「水環境・水資源」「自然生態系」「自然災害・沿岸域」「健康」「産業・経済活動」「国民生活・都市生活」）が明示されています。



農業・森林・林業、水産業



水環境・水資源



自然生態系



自然災害・沿岸域



健康



産業・経済活動



国民生活・都市生活

今日からはじめよう！個人でできる適応の取組

これらは「適応」の一例です。

① 水を大切に使う！

温暖化によって、雨が降る日がだんだん少なくなる可能性があります。ふだんから水を大切に使いましょう。エネルギーの節約にもなります。



② 熱中症を予防しよう！

地球温暖化が進み、気温が上がることで、熱中症になる可能性が増え、これまで以上に熱中症に気をつける必要があると考えられています。暑い日は水をこまめに飲み、外に出るときは、日傘を差したり帽子をかぶったりして、熱中症予防しましょう。

熱中症の主な症状

1. めまいやほてり
2. 筋肉痛・筋肉のけいれん
3. 体のだるさや吐き気
4. 汗のかき方がおかしい
5. 体温が高い、皮膚の異常



③ 自然災害にそなえよう！

雨が降る日が少なくなる可能性がある一方で、一度に降る雨の量が極端に多くなったり、大型の台風が来る可能性があります。災害にそなえるために、避難場所や避難経路を調べておくことも大事です。



④ 虫刺されに気をつけよう！

気温が上がることによって、寒い地域に住めなかった虫が、北上する可能性があります。例えば、デング熱という病気を広める蚊の住める地域が北に広がっていますので注意してください。虫よけ等を活用しましょう。

デング熱について

ヒトスジシマカという蚊が運ぶウィルスが原因となる病気です。2014年、代々木公園などで感染したと考えられる患者が発生しニュースになりました。温暖化が進むことによって、将来的に流行することが心配されています。

